

## 第29回技能グランプリ

### 「表具」職種競技課題

下記の注意事項及び仕様に従って、製作図に示す作品を製作しなさい。

1. 競技時間 9時間30分

2. 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、数量等が「4. 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 作業開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。
- (4) 使用工具等は、持参工具等一覧に従うこと。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 作業時の服装は、作業に適したものであること。
- (7) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3. 仕様

- (1) 製作図のとおり、襖（1枚）、2枚折屏風（1折）、掛軸の型（1）  
（ただし、屏風の中に張り込む）を規定の寸法に仕上げる。  
イ. ほね下地2枚のうち、1枚は、規定の寸法につめる。  
ロ. 袋張りは、裏表2回張る。  
ハ. 上張り表は鳥の子紙の無地、裏は布地の無地を張る。  
ニ. 襖の裏側には、引手を規定の寸法につけ、釘を打たないこと。引手のあきは胴返しとする。  
ホ. ふち打ちは、屏風は折合打ち、平留め、小口仕上げ。  
襖は折合打ち、天地、平ほぞ差し。  
ヘ. 仕上がった襖は、製作図の位置（2枚折屏風の左側）に、蝶番金具でつり込む。  
ト. 本紙の肌裏は真ん中で喰い先で打つ。仮張板には裏出しとする。上裏(総裏)は3枚打ちとする。2か所に喰い先必要。  
チ. 掛軸の型は、規定どおりに切り継ぎ、裏打ちしたものを、ふくりんを取って屏風の決められた位置に張り込む。  
(注) 裏打ちは、肌裏と上裏(総裏)の2回とする。  
掛軸の形式は、大和仕立とする。(寸法は当日公表)

項 目	(寸 法)	
	丈	巾
本 紙	当日公表	当日公表
一 文 字 上 下	当日公表	当日公表
中 廻 し 上 下	当日公表	当日公表
上 下 上 下	当日公表	当日公表

筋分け（筋割り）風帯	当日公表	6分(筋5厘×2を含む)
柱	当日公表	当日公表
ふくりん	0.5分	
出来上り	当日公表	当日公表

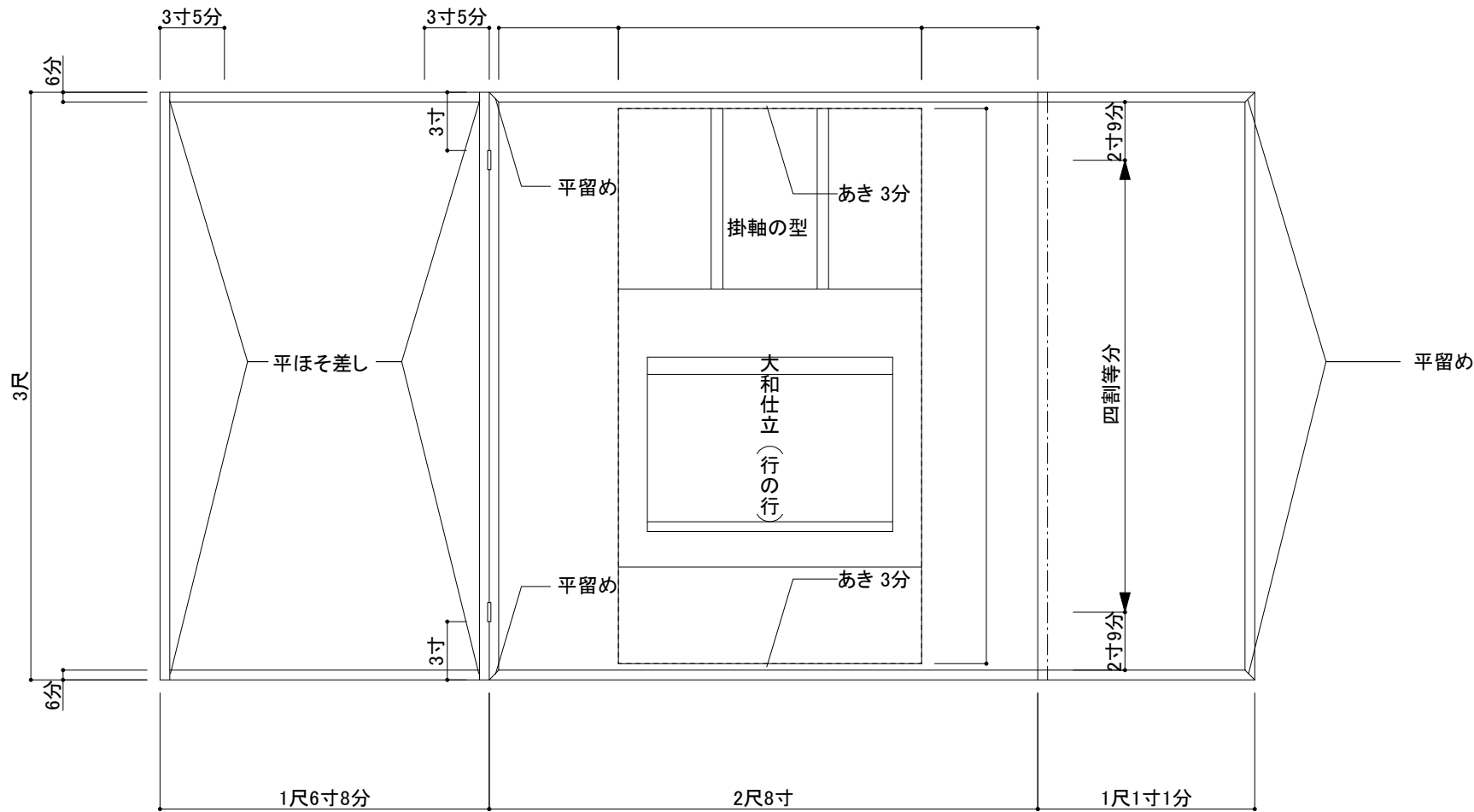
#### 4. 支給材料

品 名	内 容	数 量	備 考
ほね下地	べた張りまでしたもの	2	
ふ ち	6分角の色付ぶち	10	屏風、襖、同じ
上 張 紙	表 鳥の子紙（無地） 裏 布地（無地）	1 1	LY14605（リリカラ）
下 張 紙	下 袋 紙 上 袋 紙	7 7	
掛軸用材	本 紙 一 文 字 裂 地 中 廻 し 裂 地 上 下 裂 地 裏 打 用 紙 ふ く り ん 紙	1 1 1 1 2 1	(合金) (宇多野) (玉糸ナナコ) 肌裏と上裏(総裏)用 風帯筋用を含む
蝶番金具		2	
引 手	角 形	1	
折 合 釘		30	襖、屏風用
釘（1寸）		16	増釘、天地用
つがい紙		1	
か ま ち	6 尺	1	
竹 く ぎ		20	
の り	支給糊のみを使用 ①京表糊、②長春糊、③みやび糊、④木工用ボンド（180g入）		

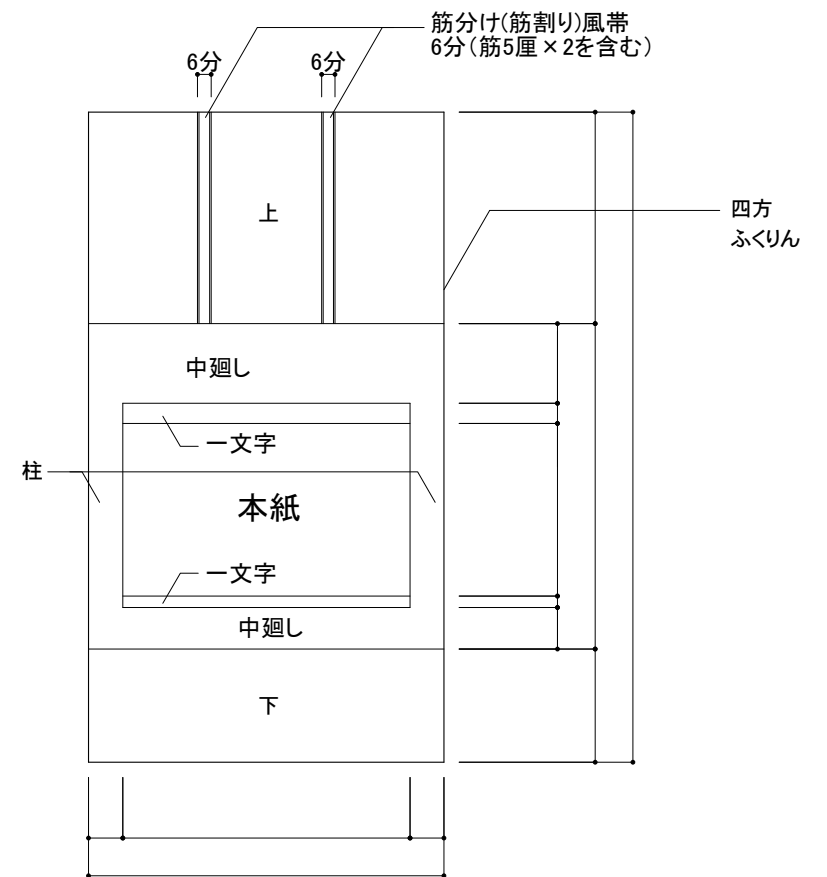
#### 5. 使用工具等一覧

必要工具類一式を持参すること。

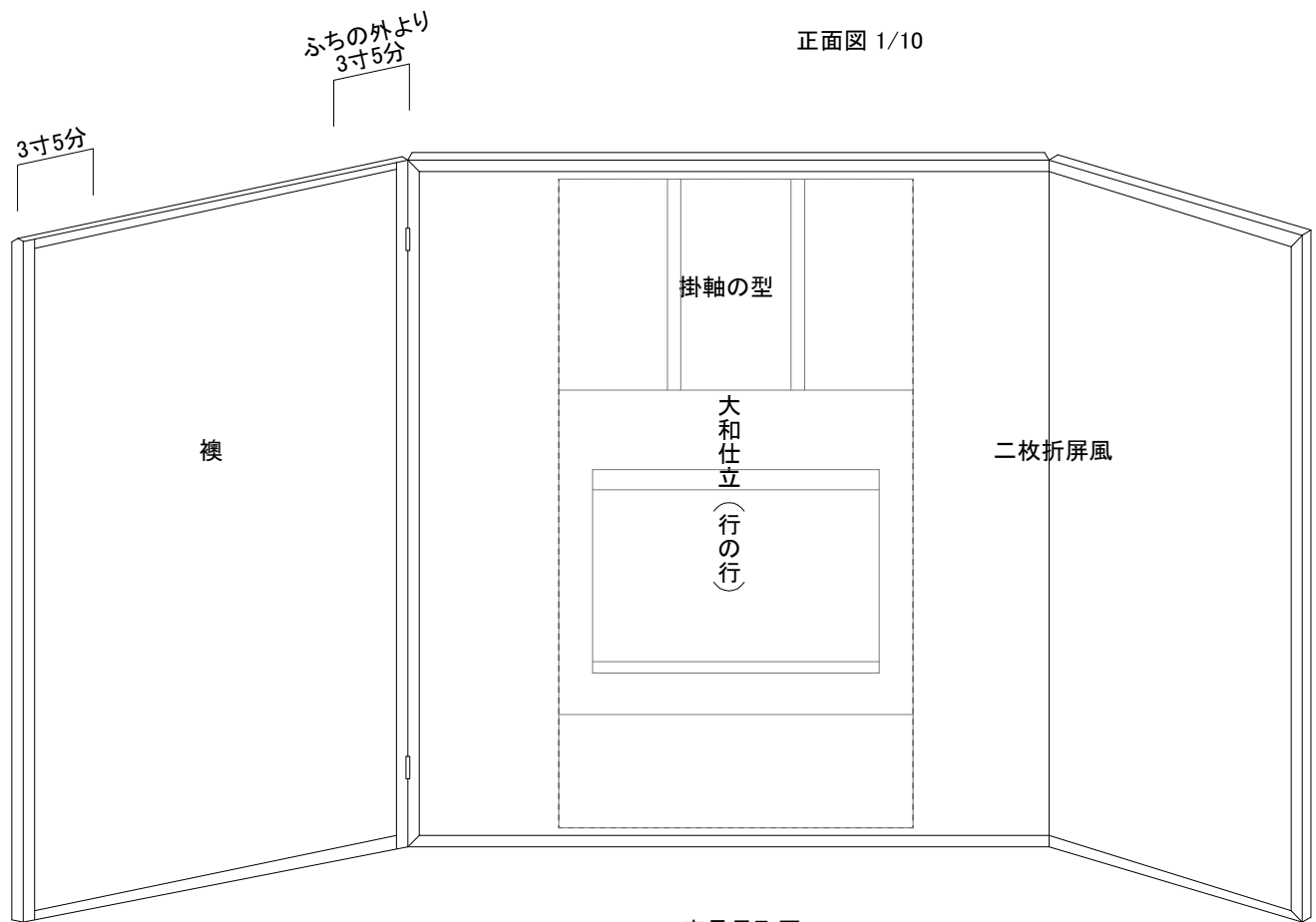
但し、仮張り、作業台、水桶、水入れは競技場で用意する。



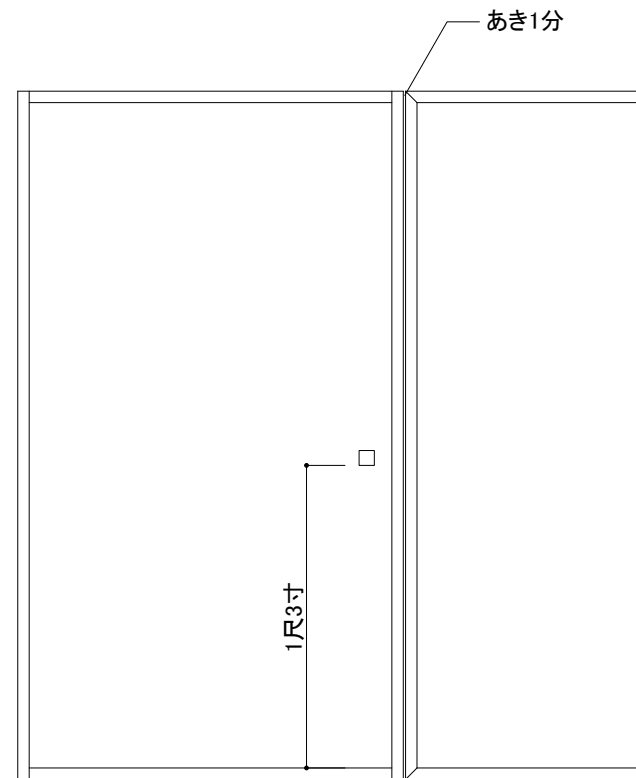
正面図 1/10



掛軸 1/10



表具見取図



	訂正		訂正		訂正		CLIENT 全国表具経師内装組合連合会 技能グランプリ	TITLE 表具 製作図	SCALE	DATE	DRAWN	CHECK		NO.
									1/10					

## 第29回技能グランプリ

(表具職種設備基準)

設 備 の 名 称	寸法または規格 (mm)	数 量	備 考
品 名			
作 業 台	1800×450×700	選手1人に付2台	1800×900の 場合は1台
仮張用張下地	1800×900	〃 1台	
水桶		〃 1個	
水入れ		〃 1個	
長机	1800×450×700	10台	
椅子		30脚	
畳		選手1人に付1畳	
ベル		1個	
掃除道具		1式	
ホワイトボード		1台	
作業板	1800×900	選手1人に付1枚	シナベニヤ
ゴミ袋		30枚	
ホイッスル		1個	
アクリル定規	1000	10本	
スケール(ステンレス)	1000	選手1人に付1本	裏面尺寸付
電気コード	5000	5本	コートリール
ペンライト		5個	
床用ビニールシート			床・保護用
三角定規		10本	
拡声器		1個	
時計		1個	作業進行用
雑巾		選手1人に付1枚	
台布巾		選手1人に付1枚	

第 29 回技能グランプリ「表具」職種持参工具等一覧表

区 分	工 具 品 名
1	霧吹き
2	金槌
3	のこぎり
4	襖、屏風間の1寸5分のはさみもの（骨製作時） 同1分のはさみもの（仕上時）
5	鉋（荒1台）（仕上げ1台）（サル鉋1台）
6	釘締め
7	アクリル定木（3尺2本・1.5尺2本・覆輪定木2本（縁巻き用、筋用＊筋用として5厘+裂地の厚さを付け足したもの）・留型定木2本）
8	三角定規・矩定規・スコヤ
9	ものさし（90cm・30cm・3尺・1尺）各1本
10	糊刷毛・シュロ刷毛・水刷毛・撫刷毛（上貼用）・切継ぎ刷毛・喰い先用刷毛
11	糊箱
12	星付き
13	合い差
14	丸包丁・留切包丁（出刃包丁）・カッター・はさみ・切出しナイフ・サンドペーパー
15	バケツ・洗面器
16	カッティングマット（900×300以内、1枚まで可）
17	ノミ（引手用・ふちホゾとり用1分5厘・蝶番用）
18	竹へら・角へら
19	上貼り用の台
20	ドライヤー・電気アイロン・電動ドリル（1台のみ）・延長コード（5mまで）
21	撫ぜ紙
22	椽打ち・ペンチ
23	屏風押さえバンド（ひも等でも可）
24	毛布・養生シート
25	ゴミ袋・ほうき・ちりとり
26	マジック
27	雑巾・ふきん
28	罫引き
29	留台（留台用鉋）
30	計算機
31	押さえ用の重し（文鎮）2個まで
32	上張り用台（900×900）
33	取り棒（掛け竿）

：上記の内より各々が必要と認めるもの。

：使用定木に、あらかじめ寸法を入れたり、改造を施したものは持参禁止。

：持参工具の点検や使用の詳細については、競技日当日、競技委員の協議により判断する。

＊尚、道具箱（工具装置台）は、H90cm・W60cm・D50cm を限度とする。

その他の道具は作業台の下に整理して置く。

## 第 29 回 技 能 グ ラ ン プ リ ・ 採 点 基 準【 表 具 】

(1) 次の①②については、採点の対象としない。

- ①時間切れによる未完成作品
- ②著しい誤差(判断は競技委員の合議による)

(2) 完成作品については、次に示す採点基準に従い採点する。

得 点		減 点(限度)		
正 確 さ	20	作 業 態 度	工 具	5
工 作	60		安 全 作 業	5
できばえ	20		整 理 整 頓	5
		仕 様 誤 り		43
計 100		汚 れ ・ 破 損		25
		計 83		

「表具」職種 Q&A

Q 1 : 支給材料について

支給される本紙、一文字、中廻し、上下裂地のだいたいの大きさ（縦×横）を教えてください。

A 1 : 本 紙:A 3サイズ

一文字:H 3 寸ほど×W本紙巾が充分にとれる長さ

中廻し:H 1 尺 4 寸ほど×W裂巾

上 下:H 1 尺 4 ～ 5 寸ほど×W裂巾

Q 2 : 持ち込み工具について

のり付けなどでアクリル板の使用は減点対象となるのでしょうか？

A 2 : 減点にはなりませんが、大きいものは使用の制限がされる場合もあります。  
（当日の競技委員の判断です。）